

【英語圏】

1.留学先について

【ワシントン州立ワッコム・コミュニティ・カレッジ（アメリカ）】

シアトル近郊のベリンハム市（人口約8万人）に位置し、市バスなど公共交通機関が発達しており、比較的治安が良く、留学費用も安価です。

基本はESLでの語学留学ですが、成績次第で学部の授業を受講することも可能です。

大学学生寮利用またはホームステイをお選びいただけます。

【サンパシフィックカレッジ ケアンズ校（オーストラリア）】

クィーズランド州に位置し、自然と海に囲まれており、比較的治安が良く、留学費用も安価です。

日本人スタッフが常駐しているため、安心して過ごせる学校です。

世界各国の学生と交流する中で、英語と異文化を学んでいただけます。

学生寮利用またはホームステイをお選びいただけます。

2.研修費用について

アメリカ ：2,300,000円（半年） 3,900,000円（1年）

オーストラリア：2,700,000円（半年） 5,100,000円（1年）

※概算となります。費用内訳は国際交流係までお問い合わせください。

3.奨学金等について

(1)授業料：一部自己負担があります。

(2)奨学金：給付なし。

(3)大阪産業大学後援会、学会より援助金を補助いただく予定です。（条件あり）

(4)自己負担：一部授業料、渡航費、海外旅行保険、ビザ取得費、現地生活費等。

4.ビザについて

選考された場合、アメリカ・オーストラリアともにビザの取得が必要です。

ビザの取得については旅行会社がサポートしてくれます。

※ビザ申請には『残高証明』が必要です。

5.残高証明について

留学に必要な残高証明書は、海外で生活するのに十分な資金があることを証明する書類です。

◆どこで発行してもらうのか

預けている銀行の窓口で発行できます。

基本的に英文での発行が求められ、銀行に依頼をすれば英文にて発行してもらえます。

◆残高証明の有効期限

発行してから1ヶ月が有効期限となります。ビザ申請のタイミングに合わせて取得してください。

また残高証明書で取得できるのは前日までの残高です。

前日までに口座への入金を完了するようにしてください。

◆どのくらい残高があればいいのか

入金額は派遣先の国によって異なります。金額の目安は、以下の通りです。

【アメリカ】 約250万円（半年）

【オーストラリア】 約150万円（半年）

【英語圏】

※上記残高金額は、2026年1月時点の情報です。レートによって金額が変わります。